

令和8年度埼玉県ノーコードツール活用プログラム受講事業者 募集要項

1 事業概要

本事業は、県内中小企業等のDX推進を目的として、「ノーコードツール*」を活用し、業務改善アプリケーション（以下、「業務改善アプリ」という。）の開発を実践的に支援するプログラムです。

単なるツール操作の習得にとどまらず、受講事業者が自社の業務課題を整理し、業務改善アプリを自ら企画・開発・運用できる状態（以下、「自走化」という。）となることを目指し、段階的な支援を行います。

*プログラミングの知識がなくても、直感的な操作でアプリケーションを開発できるツールのこと。

<支援内容>

(1) 募集・選定フェーズ（6月～7月）【検討・準備】

受講事業者の募集、応募受付、書類審査・ヒアリング、受講事業者の決定を行います。

(2) 土台作りフェーズ（8月～9月）【企画・学習】

本事業の概要や進め方を説明するプログラム説明会を実施するとともに、受講事業者の業務課題を整理し、アプリ企画に関する支援（1回）を行います。

また、経営層・管理者向けにワークショップ（集合形式、県内3か所で開催）を行うとともに、開発者向けにツール別の基本操作研修（集合形式、ツール別各1回）を通じて、組織全体でノーコードツールを活用しDXに取り組むための基礎習得・意識醸成を図ります。

あわせて、受講事業者限定ポータルサイトを通じて、ノーコードツールの使い方、アプリ企画ナレッジ、活用事例等のノーコードツール活用に関する情報提供を行います（支援期間中）。

(3) 技術実装フェーズ（10月～1月）【開発・試行】

ノーコードツールを活用した業務改善アプリ*の初期作成から運用定着までを対象とした技術実装伴走支援を段階的に実施します。

なお、伴走支援は1事業者あたり4回程度、受講事業者の事務所等に講師が赴き、原則として対面で行います。

*CRUD機能（登録・参照・更新・削除）を中心とし、外部システム連携、帳票出力、RPA等の高度な機能については、原則として本事業の支援対象外とします。

(4) 成果共有・フォローアップフェーズ（2月）【定着・継続】

事例共有セミナー（オンライン）を開催し、受講事業者の取組事例を共有します。

さらに、希望する受講事業者を対象にフォローアップ面談（オンライン）を実施します。

<活用するノーコードツール>

本事業のワークショップで活用するノーコードツールは以下の3ツール*とします。

- (1) kintone（サイボウズ株式会社）
- (2) AppSheet（Google LLC）
- (3) Power Apps（Microsoft Corporation）

*受講事業者の業務課題や環境に応じてツールを選択いただきます。

2 実施体制

(1) 主催者

埼玉県・埼玉県DX推進支援ネットワーク事務局（公益財団法人埼玉県産業振興公社DX推進支援グループ内）（以下「公社」という。）

主催者は、本事業を総括するとともに、受講事業者の募集及び採択を行います。

(2) 受託者

株式会社ジャパン・エンダストリアル（以下「事務局」という。）

受託者は、主催者から委託を受け、本事業の事務局として事業運営を行います（募集・採択業務の補助を含む）。

3 募集概要

(1) 受講対象者

以下の要件を全て満たす者としてします。

ア 次のいずれにも該当する法人又は個人事業主であること。

- ① 中小企業基本法第2条に規定する「中小企業者」であること。
- ② 埼玉県内に登記簿上の本店若しくは主たる事務所、技術開発又は生産の拠点を有すること。
- ③ みなし大企業でないこと。（以下に該当しないこと。発行済株式の総数又は出資金額の総額の2分の1以上を同一の大企業が所有している中小企業、発行済株式の総数又は出資金額の総額の3分の2以上を大企業が所有している中小企業、大企業の役員又は職員を兼ねている者が、役員総数の2分の1以上を占めている中小企業）

イ 公序良俗に対する違反等がなく、法令を遵守していること。

ウ 代表者、または法人の役員が、暴力団等の反社会的勢力でないこと。

エ ITベンダー等、自社事業としてアプリ開発やDX支援を提供する事業者でないこと。

オ 昨年度に本伴走支援事業を受講した事業者でないこと。

(2) 受講事業者数

50者（応募事業者の中から、審査を経て受講事業者を採択します。詳しくは、7 受講事業者の採択等をご確認ください。）

(3) 本事業受講に係る留意事項

本事業の受講に際しては、以下の留意事項を理解した上で受講する者としてします。

ア 自社主体でノーコードツールを使用したアプリの作成を行う意識があること。

イ ノーコードツールを活用したアプリ開発を行うためのプロジェクトチームを社内に立ち上げ、経営層の理解・同意を得ていること（本事業の伴走支援は、当該プロジェクトチームに対して実施します。）。

ウ 伴走支援を適切に実施できないと事務局が判断した場合、受講人数を制限する場合があること。

エ 本事業の支援内容・支援範囲（CRUD機能が中心）を理解し、実施に際して組織的な準備・調整、資料提供、ワークシートやアンケートの提出、各種セミナー及び伴走支援への受講時間の確保等に協力すること。

オ 本事業を通じて作成したアプリの概要部分（企業名、業務課題、作成内容（企業秘密部分は除く））や活動写真について、実施記録としての公開や広報使用を承諾すること。

カ 本事業は段階的な伴走支援により進めるため、作成するアプリの内容が当初の想定と異なる場合があること。

4 事業の流れ

■募集・選定フェーズ（6月～7月）【検討・準備】

(1) 募集・申込

事務局が設置する特設ウェブサイトにおいて、受講事業者を募集します。
また、募集にあたって受講者募集説明会を実施します。

【受講者募集説明会概要】

日時：令和8年6月24日（水）14時～15時

内容：ノーコードツールの特徴と選択基準、プログラムスケジュール、応募手続きのポイント など

開催方法：オンライン（Microsoft Teams）

申込方法：以下 URL より申込みいただけます。

申込 URL：<https://forms.office.com/r/d6cqPeKhwc>

申込締切：令和8年6月22日（月）17時

なお、本事業への応募にあたり、業務課題の整理やノーコードツール活用の方向性、ツール選定等について、事前に事務局または公社のDXコンシェルジュに相談することができます。DXコンシェルジュは、事業者の状況に応じて、本事業の活用の方向性も含めた助言を行います。

(2) 書類審査・受講事業者の決定

提出された申込内容をもとに、公社において審査を行い、受講事業者を決定します。受講事業者には支援決定通知書を送付します。対象外となった事業者にはその旨を通知します。

■土台作りフェーズ（8月～9月）【企画・学習】

(3) プログラム説明会（オンライン）

受講事業者を対象に、プログラムの概要やスケジュール、必要な手続き方法等に関する説明会をオンラインで実施します（1回）。

(4) ノーコードツールを利用する環境準備

受講事業者は、課題設定・アプリ企画伴走支援開始前までに、プログラムで利用するノーコードツールのライセンス契約を行い、課題整理・アプリ企画伴走支援で利用できる環境を準備します。

(5) 課題設定・アプリ企画伴走支援（オンラインまたは現地支援）

受講事業者の業務課題のヒアリング・整理のうえで、技術実装伴走支援で開発するアプリの企画を支援します（1回）。

(6) 経営層・管理者向けワークショップ（集合研修）

受講事業者の経営層・管理者を対象に、ノーコードツールを活用した自走化に向けての必要な考え方や成果の測定方法、プロジェクトチームの組成方法等を集合形式でワークショップを実施します（県内3か所）。

(7) ノーコードツール基本操作研修（集合研修）

ツールごとに基本操作研修を実施し、受講事業者が当該ツールの基本操作方法やアプリ開発の基本的な考え方を習得できるように支援します（ツールごと1回）。

(8) 受講事業者限定ポータルサイトによる情報提供

土台作りフェーズの期間中から、受講事業者限定ポータルサイトを通じて、ノーコードツール活用に関するナレッジ等の情報提供を行い、自主学習を支援します（支援期間中）。

■技術実装フェーズ（10月～1月）【開発・試行】

(9) 技術実装伴走支援①「業務改善アプリの基盤構築」(現地支援*)

業務改善アプリを実際に作成できる状態を目指し、業務フロー整理を通じて必要なデータベース（マスタ・入力データ・項目）を設計します。あわせて、登録・一覧・編集などの画面イメージを作成し、利用者視点で使いやすいアプリ構成を具体化します。

*原則として受講事業者の事務所等で対面により実施しますが、受講事業者の要望等に応じてオンラインで実施することがあります。

(10) 技術実装伴走支援②「初期版アプリの開発」(現地支援)

業務で利用可能な初期版アプリの作成を目的に、データベース構築と登録・一覧・編集画面の実装を行い、基本機能を形にします。

次回以降の改善・機能追加に向けて、現場試用を行い、不具合や改善点を整理します。

(11) 技術実装伴走支援③「完成版アプリの開発」(現地支援)

現場試用結果をもとに、不具合や改善点を整理・優先順位付けし、実務で安定して利用できる完成版アプリの開発を行います。

(12) 技術実装伴走支援④「運用計画書の作成」(現地支援)

事業終了後も継続的に活用できる状態を目指し、アプリやデータの管理方法、運用体制・役割分担を整理し、運用計画書を作成します。

■成果共有・フォローアップフェーズ（2月）【定着・継続】

(13) 事例共有セミナー（オンライン）

受講事業者間で取組内容を共有します。事務局が受講事業者の中から示唆に富む事例を選定し、代表して成果発表を行います。

(14) フォローアップ面談（オンライン）

支援終了後、希望する受講事業者に対し、オンラインでフォローアップ面談を実施します。

(15) 本事業による支援の終了

プログラム全体アンケートの提出を以て、本事業による支援は終了とします。

■事業スケジュール（予定）

日 程	内 容
6月～7月	<ul style="list-style-type: none">・受講事業者の募集（特設サイトで受付）・受講者募集説明会（オンライン） 6月24日（水）14時～15時・書類審査／必要に応じてヒアリングを実施・受講事業者の採択・通知
8月～9月	<ul style="list-style-type: none">・プログラム説明会（オンライン） 8月5日（水）13時30分～14時30分・課題設定・アプリ企画伴走支援（オンライン、期間内に各事業者1回） 8月17日（月）～9月18日（金）・経営層・管理者向けワークショップ（集合形式） 大宮会場 8月24日（月）13時30分～16時30分

	熊谷会場 8月25日(火) 13時30分～16時30分 川越会場 8月28日(金) 13時30分～16時30分 ・基本操作研修(集合研修) kintone 9月17日(木) 13時30分～16時30分 AppSheet 9月18日(金) 13時30分～16時30分 Power Apps 9月25日(金) 13時30分～16時30分 *会場はすべてさいたま市内を予定
10月～1月	第1回 10月1日(木)～10月30日(金) 第2回 11月2日(月)～11月30日(月) 第3回 12月1日(火)～12月25日(金) 第4回 1月4日(月)～1月29日(金)
2月	・事例共有セミナーの開催(オンライン) 2月16日(火) 14時～15時30分 ・希望者に対するフォローアップ面談(オンライン) 2月15日(月)～2月26日(金)
8月～2月頃	受講事業者限定ポータルサイトによるノーコードツールに関する情報提供

※ 上記事業スケジュールは予定のため、変更することがあります。

5 受講事業者の費用負担・受講環境の整備

(1) 費用負担

受講料は無料です。ただし、次の費用は受講事業者の負担となります。

- ・ノーコードツールのライセンス利用料金
- ・受講事業者の事務所等で発生する費用(通信費、光熱費等)
- ・本事業への受講に伴う従業員の人件費

(2) 受講環境の整備

本事業にはオンライン実施(説明会、課題設定・アプリ企画伴走支援、事例共有セミナー、希望者に対するフォローアップ面談等)と、対面での現地伴走支援(原則)があります。円滑に受講いただくため、受講事業者において以下の環境をあらかじめご準備ください。

- ・インターネット接続環境(オンライン受講に必要)
- ・PC(ノーコードツールの操作が可能なもの)
- ・資料閲覧や操作を円滑に行うための画面表示環境(例:モニター等)
- ・対面伴走支援の実施場所(会議スペース等)

*ノーコードツール基本操作研修(集合研修)はハンズオン形式で行うため、原則として受講事業者にて操作PCをご用意ください。詳細は採択後、事務局より改めてご案内いたします。

*受講環境が整わない場合、支援の実施方法について事務局から調整をお願いすることがあります。

6 応募申込

(1) 申込方法

申込は、専用申込フォーム(Microsoft Forms)からオンラインで受け付けます。

詳しくは、(4) 申込情報提出先をご確認ください。

(2) 申込期限

令和8年7月17日(金) 17時 応募締切

※申込状況等に応じて、追加募集を行うことがあります。

(3) 申込にあたっての留意事項等

ア 提出された申込情報は、採択に係る審査目的にのみ利用し、その他の目的に利用しません。

イ 提出書類に不備や疑義がある場合など、再提出・追加提出を求めることがあります。

ウ 提出書類に記載の個人情報は、公社のプライバシーポリシーに従って取り扱います。収集した情報は、法令に基づく開示要求、本人の同意、その他特別な理由のある場合を除き、第三者には提供しません。

エ 本事業の円滑な遂行のため、受託者において、個人情報の全部または一部についての取扱いをする場合も、公社と機密保持契約を締結の下、上記ウ同様に対応します。

オ 申込内容の確認等のため、事務局から電話等のヒアリングを実施することがあります。

(4) 申込情報提出先

ア 提出先

Microsoft Forms の URL : <https://forms.office.com/r/zFr83bmQXu>

・令和8年7月17日(金) 17時までに送信を完了してください。

・申込の不達が生じた際の責任は負いません。

イ 連絡、問い合わせ先

担 当 : 【事務局】株式会社ジャパン・エンダストリアル

T E L : 0 3 - 4 5 6 3 - 9 9 0 2

M a i l : saitama-dx@emdustrial.com

7 受講事業者の採択等

(1) 受講事業者の採択・採択結果通知

提出書類及び必要に応じたヒアリングをもとに審査を行い、受講事業者を決定します。

審査実施後、採択結果を速やかに応募事業者へ通知します。

なお、採択結果に関する個別のお問い合わせにはお答えできませんので、ご了承ください。

(2) 受講事業者向けプログラム説明会

採択された受講事業者を対象に、プログラム説明会を8月5日(水)にオンラインで実施する予定です。本説明会では、事業の進め方、支援内容の詳細、留意事項などを説明します。

8 支援事業の中止、支援対象者からの除外

(1) 支援の中止

受講事業者及び公社理事長は、次の各号に掲げる場合、支援事業を中止することができます。

ア 受講事業者が、支援事業を継続できないと判断した場合、「事業中止届(様式第3号)」を公社理事長へ提出し、支援事業を中止することができます。

イ 公社理事長が、受講事業者との支援過程の中で、支援実施の継続が困難であると判断した場合、支援事業を中止することがあります。

(2) 支援対象からの除外

ア ノーコードツール活用とは直接関係しない事項

事業実施の過程（状況分析、課題抽出、改善策の検討等）で、ノーコードツール活用とは直接関係しない事項が主な課題となった場合は、当該課題に関しては本事業による支援対象としません。

イ 支援対象外の事項に対する対応

支援対象外となった相談事項に関しては、支援対象企業への事情説明の上、希望により公社の別部門、または外部の支援機関に支援案件を取り次ぐ補助を行います。

9 実施内容の公開

(1) 公開

県内中小企業のDX推進を目的として、本事業を通じて作成した業務改善アプリの概要部分（企業名、業種、業務課題、作成内容等。ただし企業秘密部分は除く）について、公社の広報等で公開することがあります。

(2) 公開前の事前確認、承認

公開に当たっては、事前に受講事業者の確認、承認を得てから行うものとします。

問い合わせ先

(1) 事業内容・応募手続・運営に関すること

【事務局】株式会社ジャパン・エンダストリアル

TEL：03-4563-9902 Mail：saitama-dx@emustrial.com

(2) 応募前の事前相談（DXコンシェルジュ）、事業全般に関すること

【主催】埼玉県DX推進支援ネットワーク事務局（公益財団法人埼玉県産業振興公社 DX推進支援グループ内）

TEL：048-647-4088 Mail：info@saitamadx.com

DXコンシェルジュ相談フォーム：<https://www.saitamadx.com/sodan/>

※本事業は埼玉県産業振興公社の委託により株式会社ジャパン・エンダストリアルが運営しています。

令和8年度埼玉県ノーコードツール活用プログラム受講事業者募集 Q & A

Q1：個人事業主は対象となりますか。

A1：個人事業主でもご受講いただけます。

Q2：受講事業者の採択基準を教えてください。

A2：受講事業者の採択は、本事業の実施効果をより高めることを目的として実施しています。受講者募集説明会にてご説明いたします。採択結果に関する個別のお問い合わせにはお答えできませんので、ご了承ください。

Q3：複数のツールを活用して実施できますか。

A3：基本的には、1社1ツールの選定をお願いしています。ワークショップでは「企画 → 開発 → テスト・改修 → 運用」というサイクルを短期間で回すことを目的としており、ツールを絞ることで、より深く・着実に活用スキルを習得していただけます。

Q4：オンラインによる伴走支援の実施は可能ですか。

A4：可能です。ただし、オンライン接続に係るご準備などは受講事業者にて行ってください。

Q5：伴走支援は何回ありますか。

A5：初期作成から運用定着までを対象とした段階的な伴走支援を、1事業者あたり4回程度実施します。

Q6：ポータルサイトは何をするものですか。

A6：受講者限定のポータルサイトを通じて、ノーコードツール利活用に関するナレッジの情報提供を行い、自主学習を支援します。

Q7：どのツールを選べばいいかわかりません。

A7：受講者募集説明会及び特設サイトにて、3つのツール（kintone／AppSheet／Power Apps）の特徴や選び方をご紹介します。ツール選択についてご相談を希望される場合、事務局までお問い合わせください。

Q8：受講に際し、準備しておくべきことはありますか。

A8：オンライン受講に必要な通信環境、PC等の受講環境、ノーコードツールの利用環境（ライセンス契約等）の準備が必要です。詳細は採択後に事務局からご案内します。

Q9：作成したアプリは、その後も使い続けられますか？

A9：完成したアプリはそのまま自社業務でご活用いただけます。

Q10：他のDX支援事業と併用しても問題ありませんか？

A10：はい、問題ありません。この事業は他の補助金や支援事業と併用可能です。

(※但し、同一内容での重複補助はできません)。

Q11：受講に際し、秘密保持契約を結びたい。

A11：本事業は埼玉県産業振興公社からの委託を受け、受託者が運営しております。公社は、中小企業支援法に定める「指定法人」であり、「中小企業支援法」及び「中小企業支援事業の実施に関する基準を定める省令」により守秘義務が課されています。そのため、ご受講いただく皆様の機密情報やノウハウなどは厳重に保護されますので、ご安心してお申し込みください。

このほか、ご不明な点があれば問い合わせ先までお問い合わせください。